

平成30年度三郷市上水道事業特別会計予算の概要

1. 業務量

給水戸数は 70,100 戸で、前年度と比べ 1,200 戸（1.7%）の増、有収水量は 14,762,000 m³で、前年度と比べ 22,600 m³（0.2%）の増となりました。

2. 収益的収支の状況（税込）

収入の大部分を占める給水収益が有収水量の増加に伴い前年度に比べ 3,229 千円（0.2%）の増となったほか、消費税が還付（18,384 千円）となり、収入全体では 34,176 千円（1.4%）の増となりました。

支出では減価償却費が前年度に比べ 14,390 千円（2.0%）の増となり、支出全体では 19,590 千円（0.8%）の増となりました。

3. 重点施策

①災害に強い施設整備の推進

- ・管路耐震化の推進（予算額 808,380 千円）

石綿セメント管や水管橋、早稲田地区の配水管などの老朽管の布設替えを進め、管路の耐震化を推進していきます。

②安全な水道システムの構築

- ・北部第二配水場施設整備事業（2 か年継続事業 総事業費 1,097,000 千円）
（予算額 平成 30 年度 318,890 千円 平成 31 年度 778,110 千円）

老朽化している北部第二配水場の機械電気設備を、ダウンサイジングや浸水・地震対策等に配慮しながら、全面的に更新していきます。

③応急給水対策の推進

- ・給水車の購入（予算額 14,580 千円）

新型の給水車を購入し、応急給水体制を強化していきます。

④お客様サービスの向上

- ・クレジットカード払いの導入（予算額 5,089 千円）

お客様のニーズに応え、水道料金の支払方法にクレジットカード決済を導入し、利便性を向上させていきます。